



いしかりちほん

発行
2016年2月29日
16-7号
〒060-0806
札幌市北区北6条 西7丁目
自治労北海道本部内
石狩地方本部
上山 謙太郎
TEL:011-747-1880

中央委員会発言詳細

二月五日(金)に札幌市・北海道自治労会館において自治

労北海道本部第百二十二回中央委員会が開催され、石狩地方本部からは次の4本の発言があった。

・札幌市職連 伊藤中央委員
【臨時・非常勤等職員について】

2014総務省通知を有効活用することが重要だが、香川県善通寺市に対する提案のように、マイナスの影響も出ている。非正規問題は社会の問題として取り組みを進めて頂きたい。非正規の組織化に至っていない単組が多く見られるが、正規・非正規一体となった取り組みをお願いしたい。参院選では、えさき必勝で、我々の声を国会に届けたい。

・札幌市労 森田中央委員

【現業公企都市交評議会運動について】

現業職場で合理化提案が進んでいる。一評議会の話ではなく組合総体の話として取り組み必要がある。さらに春闘について、職場に現業職の組合員がいけないなどの理由で取り組みをしていない単組がたくさんある。地域住民に欠くことのできない公共サービスを守るためにも全単組で取り組みを進めていく必要がある。

・江別市職労 齋藤中央委員

【青年が主体的に組織強化、政治闘争の強化をすすめる決意】

「次代の担い手育成」のために基本組織のみなさんか

ら、情勢や当局提案の矛盾や問題点について、しっかりと説明をしたり、青年部としての運動の方向性を一緒に考える場をつくってほしい。

また、青年が政治を敬遠するのは、本当に政治に無関心だからなのか。民主党を信頼できないからなのか。信頼されていないのは、組合や、ここにいるわたしたち一人ひとりが青年に対して、政治闘争の意義を説明できていないことが原因ではないか。

青年が求めているのは、政治闘争における意義やルールを説明し、不安を軽減すること。政治闘争に取り組もうとする青年にねぎらいの一言をかけた後、職場の状況を尋ねることなど、政治闘争こそ、青年と基本組織の垣根を超えて会話をするチャンスになるはず。

・千歳市職労 榎本中央委員

【政治闘争の推進について】

衆議院北海道5区補欠選挙は石狩地方本部がまさにたたかいの中心になっている。石狩地方本部では一月十五日に開催された第2回執行委員会において「池田まき」さんを推薦決定した。現在は地本内の全単組・総支部における推薦決定、組合員に対する周知活動、支持者紹介カードの取り組みを実施している。7月の参院選の前哨戦ともいえる4月の5区補選に全力を挙げて取り組み、その流れで7月の「えさき」「徳永」のたたかいつながりたい。

ふつうの人から、豊かになろう。

中小企業の年金を守りたい、農家の発展を支えたい、自衛隊の家族に寄り添いたい、強い人ばかりでなく、ふつうの人々が豊かに暮らせる毎日をつくりたい。



池田まき

【推薦資料】

自治労石狩地方本部は衆議院北海道第5区選出議員補欠選挙の候補予定者として「池田まき」さんを推薦決定しています。

つながろう。ともに声を上げ、明るい未来を咲かせよう。

えさき 巻
参議院議員
比例代表選出



しっかり見つめる 未来も今も。

徳永 亨
参議院議員
北海道選挙区選出



自治労石狩地方本部は第24回参議院議員選挙に「えさきたかし」さんを組織内候補として、「徳永エリ」さんを推薦候補としてそれぞれ決定しています。

